

川口鑄金工芸教室で制作した作品を展示 鑄金工芸作品展

川口鑄金工芸研究会(猪股幸治会長)は3月17日〜20日に「第38回鑄金工芸作品展」を、川口総合文化センター・リリア(川口駅西口前)3階ギャラリーで開いた。川口市、川口産業振興公社、川口市観光物産協会、川口鑄物工業協同組合が後援。

同展では、様々な職業や年齢の会員が「川口鑄金工芸教室」で1年をかけて制作した作品、鑄鉄やブロンズの工芸鑄物約70点を披露した。ペーパーウエイトやレリーフ、花器、茶釜、火鉢、香炉、置物など多彩な作品を展示。今年の干支である寅にちなみ、寅に関連した作品を集めたコーナーも注目されていた。

自身を持つ技術を、納得がいくまで時間をかけて作り上げる作品に、訪れた人からは「繊細さに驚いた」「感動した」などの声が寄せられた。また会場の一角では、同研究会が初の商品として昨年1月に発売した鑄物製の置物「きゅぼらん」も紹介された。



鈴木招重さんによる「茶釜」

同研究会は昭和35年に発足した歴史ある団体。産業技術としての鑄物で、「身の回りの用具を作ってみよう」「生活を彩りたい」などの思いを持つ市民を対象に、作品作りの作業場を提供し教室を開催。確かな技術と知識を持った講師が指導を行っている。教室は4月に開講。見学はいつでも自由に行ける。

詳細はホームページ(<https://kawaguchi-cinikin.com>)を。



鑄物製の置物「きゅぼらん」も紹介

多彩な作品を展示

日本鑄造協会 鑄造入門講座

鑄鉄コースとアルミ鑄物コース

日本鑄造協会は6月から、2022年度の「鑄造入門講座」を開催する。講座は6月24日〜12月3日の半年間で、計13日間。鑄造業・鑄造関連企業に勤務する新人社員から鑄造関連業務3年〜4年程度の若手社員が対象。11月以外の毎月1回、金曜・土曜を中心とした12日間の講習に加え、安全体感や鑄物工場での現地研修を行っている。鑄鉄専門コースとアルミニウム鑄物専門コースがあり、定員は合わせて60人。

講義は計36コマで、機械振興会館(東京都港区芝公園)での対面による講義とZOOMでのオンライン講義。内容は①日本の工業や鑄造業の歴史、経済に関する知識を学ぶ「鑄造基礎講座」②鑄鉄・アルミ鑄物の原理・原則や基礎的な技術に関する「鑄造技術講座」③安全、品質、原価などの管理の初歩的な知識について解説する「鑄造関連講座」で構成。23コマは両コース共通で、うち6コマはオンライン講義。残りの13コマは鑄鉄とアルミ鑄物のそれぞれ60人。

講習に加え現地研修を実施

この専門講義とする。現地研修については、8月26日に実施する。MC(興産)株(栃木県真岡市)と日本を代表する鑄物工場を訪問する予定だ。

受講料は会員17万6千円、非会員28万6千円。申し込みは申込書に記入捺印の上、日本鑄造協会事務局まで郵送。4月28日まで申し込み受け付け。

問い合わせは同事務局(☎03・34332・2991)へ。

委員会報告

川口鑄物工業協同組合は3月8日に新型コロナウイルス感染症対策のため書面で行った理事・部会長会、2月の総務・業務委員会での審議内容に関する報告があった。主な内容は次の通り。

【総務委員会】(佐々木正委員長)書面で実施①組合機関紙「川口鑄物ニュース」2月25日号の編集について承認②令和4年1月の財政収支について承認

【業務委員会】(永瀬重一委員長)①1月の事業実績を報告②未収一覧表について承認③干支(寅)販売数量について報告④1月の事業別実績について報告があり承認⑤廃砂処理の1月の債務保証について報告があり承認⑥化学分析料金改定について検討⑦川鑄商事扱い共同購入事業1月実績について報告⑧川鑄商事扱い神戸鉄について報告

ワクチン接種確認証「3回目接種版」追加作成

川口商工会議所

川口商工会議所では「ワクチン接種確認証」という最大の経済対策」という基本認識のもと、昨年9月にオリジナルの「ワクチン接種確認証」を作成。同確認証作成者が1万人に迫るほど発行した。新型コロナワクチンの接種が進む中、3回目接種の証明を希望する声が多くなり、追加作成が必要と判断された。発行にあたり、自治体の接種済証を確認し、カードサイズの確認証を配布する。確認証の掲示により、事業者が「安心・安全な事業所」としてPR等にも活用でき、ワクチン検査パッケージの利用促進が進む埼玉県で、様々な場面で活用できる。

また集客・販売促進につなげるツールとして、飲食店や小売店などで掲示する店頭ポスターを作成。無料で配布またはダウンロードができる。

接種した人がこのカードを持つことで、周囲の人のワクチン接種の輪が広がり、人と接する時の安心感につながることを願われている。

問い合わせは同会議所(☎048・2288・220)へ。

多くの寄せられたことから、新たなデザインで追加作成することが決まった。発行にあたり、自治体の接種済証を確認し、カードサイズの確認証を配布する。確認証の掲示により、事業者が「安心・安全な事業所」としてPR等にも活用でき、ワクチン検査パッケージの利用促進が進む埼玉県で、様々な場面で活用できる。

問い合わせは同会議所(☎048・2288・220)へ。

申込み・問い合わせは 業務部材料試験課(直通) 電話 048-228-3047 FAX 048-224-1829

注1) 30人未満の事業所分は川口鑄物工業協同組合調査結果から下記の計算により算出しています。有効回答の合計重量 × 調査対象事業所数 ÷ 有効回答事業所数

注2) 「鑄鉄鑄物」…ここでは必ず鑄鉄及び球状黒鉛鑄鉄を指し、可鍛鑄鉄等を除く。

貿易実務講座 入門編

川口産業振興公社

川口産業振興公社は6月4日・11日の2日間、「貿易実務講座(入門編)」をオンラインで開催する。時間は13時〜17時。定員を超えた場合は抽選。

問い合わせは同社(☎048・2663・1110)へ。

川口市が共催、川口商工会議所が後援。川口市内在住または在勤で、これから貿易業務に携わる人や、貿易実務の基礎知識を身につけたい人が対象。貿易取引の契約や通関、船積み、決済などの実務について講義。

参加費は2千円。定員は30人。4月25日9時から5月2日17時まで、ウェブで申し込みを受け付け審査する。

川口鑄物工業協同組合は5月31日10時15分から2022年度の通常総会を開催する。定員は30名。4月25日9時から5月2日17時まで、ウェブで申し込みを受け付け審査する。

通常総会

川口鑄物工業協同組合は5月31日10時15分から2022年度の通常総会を開催する。定員は30名。4月25日9時から5月2日17時まで、ウェブで申し込みを受け付け審査する。

鑄研テラス

4月21日に総会
若手経営者・幹部で構成する川口鑄物工業企業研究会(鑄研)伊藤暢宏代表幹事は4月21日、第62回定時総会・懇親会を川口総合文化センター

リリア(川口駅西口前)14階銀座アスター川口支館で開催する。18時過ぎから正会員で総会を開き、2022年度の事業計画や役員体制などについて審議。19時から賛助会員と来賓、鑄研のOBを交えた懇親会を催す。

問い合わせは同会議所(☎048・2288・220)へ。

問い合わせは同会議所(☎048・2288・220)へ。

テストピース用シェル鑄型の販売価格

品名	組合員価格	員外価格
○FC用シェル (2本1組)	594円	1,188円
○FCD用ノックオフ形シェル	583円	1,166円
○板チル用シェル (10個1組)	550円	1,100円
○発光分光分析用定盤	6,600円	1セット
○ " " 金型	26,400円	66,000円

(税込)



川口鑄物工業協同組合

申込み・問い合わせは 業務部材料試験課(直通) 電話 048-228-3047 FAX 048-224-1829

令和3年12月鑄鉄鑄物生産量

用途別	令和3年12月			川口鑄物工業協同組合	
	重量(t)	前月比(%)	前年同月比(%)	令和3年12月(前月)	令和2年12月(前年同月)
一般・電気機械用	4,230	91.2	124.0	4,638	3,412
輸送機械用	2,525	95.1	114.0	2,654	2,214
その他用	1,974	92.5	99.7	2,133	1,979
合計	8,729	92.6	114.8	9,425	7,605
対象工場数	66			66	68

令和3年12月非鉄鑄物生産量

種別	令和3年12月			川口鑄物工業協同組合	
	重量(kg)	前月比(%)	前年同月比(%)	令和3年12月(前月)	令和2年12月(前年同月)
銅・銅合金鑄物	28,232	93.9	71.5	30,073	39,463
アルミニウム鑄物	1,543,502	91.4	90.5	1,688,525	1,704,901

資料：川口鑄物工業協同組合調査、経済産業省生産動態統計調査のうち埼玉県内の事業所集計分(非鉄鑄物生産量は経済産業省生産動態統計調査による)

注1) 30人未満の事業所分は川口鑄物工業協同組合調査結果から下記の計算により算出しています。調査対象事業所数 × 有効回答の合計重量 ÷ 有効回答事業所数

注2) 「鑄鉄鑄物」…ここでは必ず鑄鉄及び球状黒鉛鑄鉄を指し、可鍛鑄鉄等を除く。

鑄鉄・非鉄鑄物12月の生産動向